

上手に使おう 横浜の水
～健康と豊かな暮らしは蛇口から～

ラオス国の水道事業改善に向け、JICA、埼玉県、さいたま市、川崎市と協定締結
～日本の4水道事業体の知見・経験をラオスへ～

これまでの活動の様子



ラオス国では、2030年までに都市人口の9割に対して安全で安定的な給水を行うことを、国家目標として掲げています。横浜市水道局は、独立行政法人国際協力機構（JICA）が平成24年8月から平成29年8月にかけて実施した「水道公社運営管理能力向上プロジェクト（通称：MaWaSUプロジェクト）」に参画し、ラオス国の3水道公社をパイロット水道公社として、事業計画策定能力の強化を支援してきました。

同プロジェクトは終了しましたが、ラオス国内の多くの水道公社は、依然として水道事業運営に様々な課題を有しており、継続的な支援が必要です。このため、JICAは本年度から「水道事業運営管理能力向上プロジェクト（MaWaSU2）」を実施します。

そこで、日本の水道事業体の経験をもとにラオス国の課題を解決することを目的とし、埼玉県企業局、さいたま市水道局、川崎市上下水道局、横浜市水道局の4水道事業体とJICAが協力して事業を進めるため、協定を本日5月21日付で締結します。

横浜市水道局は、職員の派遣や研修員の受入を通じて、経営・財務に関する分野でラオス国の水道事業を支援していきます。



プロジェクトの支援先

■技術協力プロジェクト概要

プロジェクト名：水道事業運営管理能力向上プロジェクト（通称：MaWaSU2）

期 間：2018年5月から2023年5月（5年間）

ラオス側実施機関：公共事業運輸省水道局、ビエンチャン都・ルアンパバーン県・カムアン県の3パイロット水道公社及び3都・県の公共事業運輸局、並びにその他の県の水道公社及び公共事業運輸局

目 的：国家目標の達成に向けて、水道セクター管理体制と水道公社の水道事業能力を強化するために必要な基盤を整備する。

主 な 活 動：水道行政能力強化（主に水道セクター関係機関の責務・役割分担の検討、民間活用の検討等）、水道セクター開発基金の設立に向けた準備支援、水道公社の施設整備事業における能力強化、関係機関の審査・モニタリング・評価能力の強化、水道事業に必要な技術基準作成支援、水道公社の水道事業に関する計画・実施能力強化等

なお、本件の協定締結にあたっては、締結式などの式典を開催する予定はありません。内容ほか詳細については、下記までご照会ください。

お問合せ先	
水道局事業推進部担当課長（国際技術担当）	塩野 広司 Tel 045-633-0117